

平成30年11月8日定例教授会議事抄録

出席者

梶屋所長

青山，池本，大木，小寺，佐藤，菅，園田，高橋，高見澤，長澤，中島，名和，平勢，
真鍋の各教授

秋葉，上原，額定其芳，藏本，鍾，塚本，馬場，古井，森本，米野の各准教授

海外渡航者

黒田，松田，安富教授の各教授

議事

10月11日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について 資料P6のとおり1件
2. 各種研究助成等の募集について なし

報告事項

3. 所長報告

梶屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 科所長会議（10月23日）

① 東京大学と国際連合開発計画（UNDP）との全学協定締結

資料P8～9に基づき、東京大学と国際連合開発計画（UNDP）との全学協定締結について報告があった。

② 東京大学とインドネシア大学との全学学生交流覚書締結

資料P10～11に基づき、東京大学とインドネシア大学との全学学生交流覚書締結について報告があった。

③ 東京大学と国立台湾大学との全学学生交流覚書更新

資料P12～13に基づき、東京大学と国立台湾大学との全学学生交流覚書更新について報告があった。

④ 平成30年人事院勧告を踏まえた本学の対応方針

資料P14～15に基づき、平成30年人事院勧告を踏まえた本学の対応方針について報告があった。

⑤ 部局で実施している留学生短期受入プログラムの情報提供依頼

資料P16～20に基づき、部局で実施している留学生短期受入プログラムの情報提供依頼が届いている説明があり、東文研からはGJSについて情報提供する予定であるとの報告があった。また、今回の回答期限後も随時受け付けるとのことなので新しくプログラムを企画する際は本件ウェブサイトへ情報を提供し、周知に活用願いたいとの依頼があった。

⑥ 研究公正講演会の開催

資料P 2 1～2 2に基づき、1 1月1 5日（木）に開催される研究公正講演会について、案内があった。

⑦ LPトークセッション

資料P 2 3～2 4に基づき、1 0月2 日（火）にオープンしたライブラリープラザおよび1 0月2 4日（水）に開催されたLPトークセッションについて、報告があった。

2) 予算委員会（1 0月2 3日）

資料P 2 5に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

3) 科所長会議（1 1月6 日）

① 東京大学学部通則の一部改正

資料P 2 8～2 9に基づき、東京大学学部通則の一部改正について、報告があった。また、この改正内容は大学院も共通であるとの補足説明があった。

② 東京大学におけるバリアフリーの推進に関する指針の一部改正

資料P 3 0～3 3に基づき、東京大学におけるバリアフリーの推進に関する指針の一部改正について報告があり、東文研には玄関スロープや車いす対応トイレ、エレベーターの設備はあるが、視覚障害や聴覚障害への配慮についても努力の必要があるとの説明があり協力願いたいとの依頼があった。

③ 東京大学における部局新設に係る設立準備委員会設置要綱の制定

資料P 3 4～3 5に基づき、東京大学における部局新設に係る設立準備委員会設置要綱が制定されたとの報告があった。

④ 国際高等研究所「東京カレッジ（英語名：Tokyo College）」の設立

資料P 3 6～3 9に基づき、国際高等研究所「東京カレッジ（英語名：Tokyo College）」が設立されたとの報告があった。

⑤ 障害者の雇用状況

資料P 4 0～4 1に基づき、障害者の雇用状況について報告があった。

⑥ 未来社会協創推進本部・政策ビジョン研究センター主催シンポジウム

資料P 4 2～4 3に基づき、未来社会協創推進本部・政策ビジョン研究センター主催シンポジウム「データ利活用のための政策と戦略ーより良きデータ利活用社会のためにー」の開催予定について、案内があった。

4) 国立大学附置研究所・センター会議第3部会（1 0月1 2日）

① 2 0 2 0年度は京都大学こころの未来研究センターが部会長となることが同会議で決まったとの報告があった。

② 平成3 1（2 0 1 9）年度は東文研が部会長となるため、第3部会で主催するシンポジウムを2 0 1 9年1 0月1 8日（金）に行う予定であるとの報告があった。

③ 国立大学附置研究所・センター会議のホームページに掲載されるインタビュー記事の順が回ってくるので、協力願いたいとの依頼があった。

5) 教員の海外渡航について（報告）

資料P 4 4～4 5に基づき、一部記述修正をし、5件を承認した旨報告があった。

6) 委員等・非常勤講師の応嘱について

なし

7) 東京大学基金の受け入れについて

資料P46のとおり1件を承認した旨報告があった。

8) その他

① 2019(平成31)年度Sセメスター(S1ターム・S2ターム)

全学自由研究ゼミナール等の実施について

資料P47に基づき、教養学部からH31Sセメスター全学自由研究ゼミナールの担当教員選出依頼が届いており、希望の申し出がなければ上原准教授に担当いただくとの説明があった。なお、東文研では希望者を優先したうえで、着任日を基準に順番で依頼することとしているとの説明があり、H31Aセメスター以降は、希望者がいなければ秋葉准教授が担当する予定になるが、クロス・アポイントメントとの関係で、調整することとなるとの説明があった。

② 学術フロンティア講義について

文系3研究所で担当している学術フロンティア講義について、3年間(1周)終了したとの報告があり、資料P48~51に基づき、平成30年度の講義の授業評価結果について説明があった。

また、平成31年度(2周目)も開講することとしたこと、本研究所からは4月から6月頃の講義を担当するため4名の教員を選出する必要があることの説明があり、講義担当教員をこの場で募りたいとの依頼があった。

これを受け、その場で以下の教員から申し出があり承認された。

菅教授、青山教授、額定其労准教授、藏本准教授

③初年次ゼミナール文科開講希望調査について

資料P52~54に基づき、教養学部から初年次ゼミナール文科開講希望調査が届いているとの報告があり、概ね3年程度は同じ教員が担当することを望まれていることもあり、来年度も藏本准教授にお願いすることとしたとの説明があった。

4. 各委員会報告

1) インフラ委員会

平勢委員長代理より、

① 平成31年8月から実施する外壁調査と窓枠改修工事に向けて、滞りなく工事ができるよう、居室等の整理に協力いただきたいとの依頼があった。

② 研究者が増えたことにより研究室が不足する恐れがあるため、平成31年度は第3会議室を臨時的に研究室として使うことを検討しているとの報告があった。本日、異議がなければ正式に臨時研究室として進めたいとの説明があったが、異議なく了承された。また、このことを受け、平成31年度については第3会議室の予約を入れないよう要請があった。

2) 財務委員会

高見澤委員長代理より、

① 資料P55~56に基づき平成30年度予算執行状況の報告があり、個人、委員会とも計画的な執行へ協力いただきたいと要請があった。

② 2次配分の原案作成を各委員会へ依頼しているが、提出後も修正等のお願いをする場合があるので、ご協力いただきたいとの依頼があった。

3) 情報・広報委員会

高橋委員長より、10月20日(土)に開催された第18回公開講座の参加者数等について報告があった。

4) 研究企画委員会

青山委員長より、今後、東洋学研究情報センター業務を研究企画委員会へ移管することについて、センター委員長である平勢委員長より説明があった旨の報告があった。

藏本委員より、本日14時から開催される秋葉准教授の定例研究会について、案内があった。

5) 図書委員会

大木委員長より、

① アジア研究図書館運営委員会報告として、アジア研究図書館の書庫資料の貸出条件は、50冊、90日間、更新1回、30日経過後リクエスト時返却という運営委員会案がまとまったとの報告があった。

② 資料P57に基づき、平成30年度図書資産実査の結果、所在を確認できない図書があったと報告があった。

6) 東洋学研究情報センター委員会

特になし

7) GJS委員会

園田委員長より、

① 日本学生支援機構海外留学支援制度(協定受入)について、平成30年度分の追加採択の連絡を受けたがプログラムが終了しているため辞退したこと、平成31年度申請は学内審査を通過し機構への申請可となったとの報告があった。

② 前倒して7月上旬に実施時期を変更して行うこととした平成31年度のサマープログラムについて、具体的なプログラムの設計を進めているとの経過報告があった。

8) その他

塚本レクレーション委員長より、次回教授会開催日の夕刻に開かれる創立記念パーティーについて、忘年会を兼ねて開催する旨案内があった。

5. その他

英文ジャーナル担当の中島教授より、英文ジャーナルへ論文を投稿いただきたいこと、また所外の研究者へも投稿を呼びかけていただきたいとの依頼があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

特になし

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P58~60のとおり7件の受入れおよび3件の受入期間変更が承認された。

8. 研究協力者の申請について

該当教員より資料P 6 1および回覧資料に基づき説明があり、一部記述修正し、承認された。

9. 南京大学との全学国際交流協定の更新について

中島教授より、資料P 6 2～6 3に基づき、南京大学との全学国際交流協定が更新される際に、東文研が本件協定に新たに参画することについて提案があり、承認された。

10. ガジヤマダ大学との全学国際交流協定の更新について

青山研究企画委員長より、資料P 6 4～6 5に基づき、ガジヤマダ大学との全学国際交流協定が更新される際には、東文研は本件協定に参画しないことについて提案があり、承認された。

11. 国際卓越大学院教育プログラムの開設に係る申請様式について

榊屋所長より、資料P 6 6～7 3に基づき、総合文化研究科が開設申請する国際卓越大学院教育プログラム開設申請に連携するとの提案があり、審議の結果、承認された。

12. 若手研究者支援制度（東京大学卓越研究員）に関する申し合わせについて

榊屋所長より、資料P 7 4に基づき、若手研究者支援制度（東京大学卓越研究員）に関する申し合わせについて提案があり、審議の結果一部記述修正し、承認された。

続いて榊屋所長より、回収資料に基づき、東文研を希望する応募があったため採用可否を審査することが必要であるとの報告があり、ついては、本件応募者の審査にかかる選考委員会設置の可否について審議願いたいとの提案があった。審議の結果、選考委員会を設けず全体で審議することが承認された。これを受け、研究所内規第3 1条第2項に基づき、本日審議を行い、同日に投票を行うとの発議があった。また、採否の決定にあたり、出席者が定足数となる教授会構成員総数の3分の2以上に達しているため、本教授会で選考が成立する旨宣言があり、応募者の経歴等の説明があり、その後、投票を行った結果、否決された。

13. 教員の兼務について

榊屋所長から、下記平成3 1年1月1日付け採用することが決定しているBATES 特任教授に対して、連携研究機構ヒューマニティーズセンターより兼務依頼が届いている旨説明があり、審議のうえ承認された。

14. その他

名和評価委員長から、平成3 0年度に実施する教員評価について説明があった。

また、評価委員について、副所長、財務委員長、副センター長及び板倉教授を委員とし、次回総務委員会前に評価委員会を開催すると報告があった。

以上